重点戦略

全国をリードする
「医療関連産業育成・集積戦略」

山口県の瀬戸内沿岸地域は、医療関連企業が集積し、成長産業として発展が期待できる高いポテンシャルを有しています。

産学公や企業間の連携体制の強化など、企業の新規投資を呼び込む環境整備を進め、日本有数の医療関連産業の集積を図ります。

プロジェクト

◇医療関連産業クラスターの形成

プロジェクト	No 1	医療関連産業クラスターの形成

目標	産学公や企業間連携による活発な研究開発・事業化の実現 ≪医療関連分野での事業化件数　5年間（平成25～29年度）で13件≫

現状と課題

□ 優れた立地環境
- 瀬戸内沿岸地域に全国トップレベルの医療関連産業が集積（原薬製造では全国第4位）
- 大型医療機器関連企業の進出
- 少ない自然災害、豊富な産業人材、澄んだ水・空気

□ 研究開発における更なる産学公連携が必要

□ 地域のポテンシャルを活かす更なる企業間連携等が必要

取組方針

□ 医療関連産業クラスターの形成に向けて、全県的な推進体制により医療関連産業の育成・集積を促進します。

□ 新たな研究開発や事業化を支援します。

□ 研究開発機能を強化し、企業の先導的な取組をサポートします。

□ 革新的技術を活用した新たなサービス等により、新事業展開に取り組むベンチャー企業の円滑な立ち上げを支援します。

□ 成長が期待される分野の企業の設備投資を支援するなど、重点的な企業誘致活動を展開します。

具体的な取組

取組

□ 全県的な推進体制の構築
- 「やまぐち医療関連成長戦略推進協議会」の運営
  （医薬品メーカー、化学メーカー、大学、病院、県等が参画する全県的な組織）

□ 「医療関連産業クラスター構想」の推進
- 国による地域イノベーション戦略推進地域の指定
- 国等の競争的資金の優先採択　　・イノベーション推進センターの運営

□ 新たな研究開発・事業化への支援
- 「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」や国等の競争的資金を活用した研究開発・事業化支援

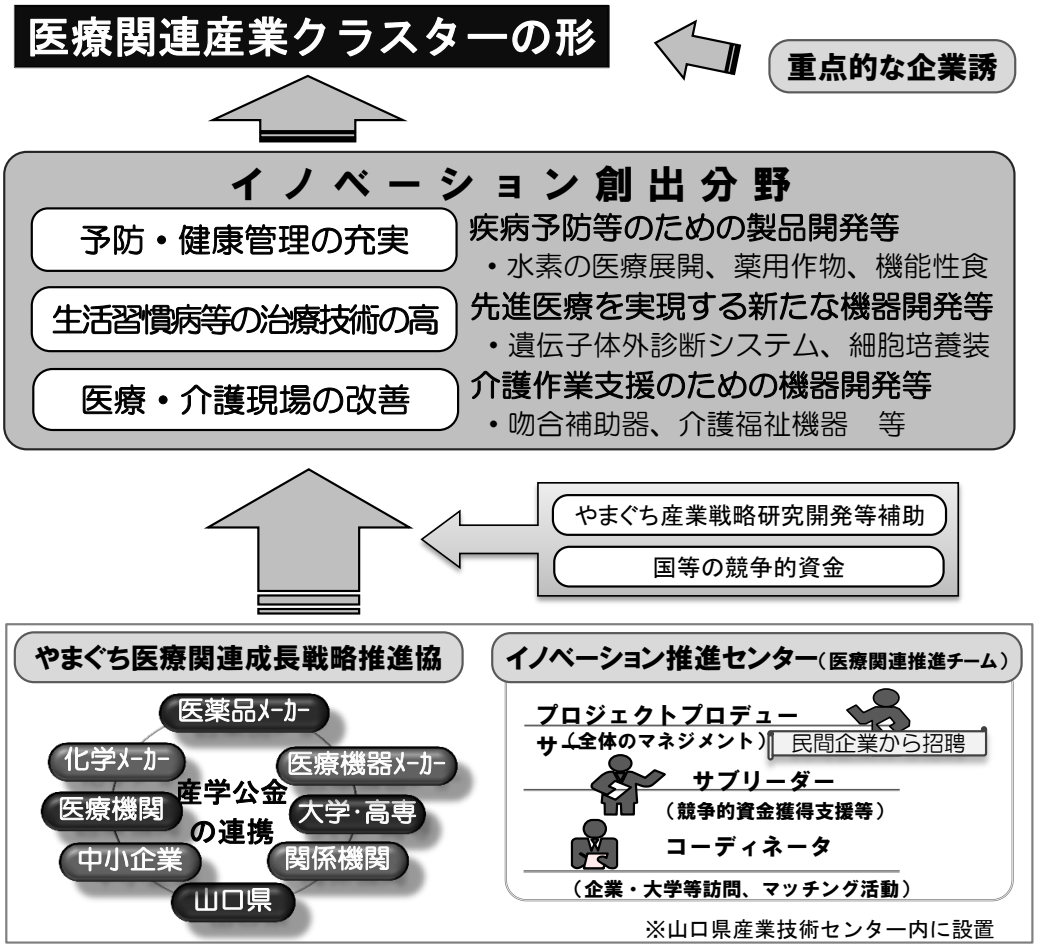
□ 研究開発機能の強化
- 先進的な研究開発拠点機能の整備　・再生医療研究開発拠点機能の強化支援

□ 次世代ベンチャー企業の創出
- 産学公金が連携した取組等により生まれてきた革新的技術を活用した新事業展開に取り組むベンチャー企業の円滑な立ち上げの支援

□ 重点的な企業誘致活動の展開
- 優れた立地環境を活かした戦略的な企業訪問の実施、情報発信等

工程表

取　　組	平成25年度（実績）	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
全県的な推進体制の構築	<やまぐち医療関連成長戦略推進協議会> ●設立（10月） 運営（産学公・企業間連携による研究開発・事業化の促進）→ シンポジウム ●開催（9月） 設立記念●セミナー（11月） 首都圏 ●セミナー（2月） ●●● 医療現場ニーズ発表会・交流会（8、9、10月） ● 医療関連企業見学会（11月） ●医療シーン見学会（12月） 医療機器産業参入●●●●セミナー（7、9、10、11月） 医療機器メーカーとの展示商談会（1月）●		●開催（9月） ●医療現場ニーズ発表会（12月）	●開催（9月） ●医療機器産業参入セミナー（7月） ●展示商談会（10月）	
	<やまぐち介護・福祉機器研究会> ●設立（11月） 研究開発・事業化の促進→ キックオフセミナー（2月）● 介護・福祉機器ニーズ探索セミナー（2月）●			●介護・福祉機器セミナー・開発テーマ報告会（7月）	

工程表	取　　組	平成25年度（実績）	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	「医療関連産業クラスター構想」の推進	〈医療関連産業クラスター構想〉 策定（4月）	●国による地域ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ戦略推進地域の指定（7月） ●国等の競争的資金の優先採択 ●イノベーション推進センター設置（4月）　運営			
	新たな研究開発・事業化への支援	〈やまぐち産業戦略研究開発等補助金等〉 ●創設（10月）		研究開発・事業化の促進		●再生医療関連産業振興の強化
	研究開発機能の強化	〈先進的な研究開発拠点機能の整備〉 ●要望（6月、11月）	●要望（6月、11月） ●産業技術センター第2期中期計画の策定（3月） ●金属3Dプリンター導入（2月）	●要望（6月、11月）	●要望（5月、11月） ●再生医療研究開発拠点の機能強化への支援 ●「再生・細胞治療研究センター」（山口大学）の設置(11月)	
	次世代ベンチャー企業の創出			支援制度の創設	新事業展開の促進	
	重点的な企業誘致活動の展開	優れた立地環境を活かした戦略的な企業訪問の実施 企業誘致ウェブサイトや専門紙等による情報発信 ●首都圏セミナー（2月）				

事業の概要